

ホテル オリオン モトブリゾート&スパ 沖縄県本部町

【贈呈理由】省エネ性・経済性に優れた冷温同時取出ヒートポンプと業務用エコキュートの導入



ホテルオリオンモトブリゾート&スパ



業務用エコキュート



冷温同時取出ヒートポンプ

ホテルオリオンモトブリゾート&スパは、オリオンビル株式会社が所有する客室数238室の大型リゾートホテルとして、2014年7月にオープンした。客室はすべてオーシャンビューとなっている他、沖縄を代表する観光地である海洋博記念公園や美ら海水族館に隣接した好立地となっており、日本にとどまらず、世界中から観光客が訪れている。

住宅・建築物省CO₂先導事業の採択を受けた空調・給湯設備

同ホテルでは沖縄の恵まれた水・太陽・地熱・そして気候を最大限に活かし、「水と空気のトータルエネルギーシステム」を構築することによって、暑熱地域の省CO₂技術を先導する環境共生リゾートホテルの創生を目指している。

施設内の大量の給湯需要に対応するべく、冷温同時取出ヒートポンプと業務用エコキュートを導入。冷温同時取出ヒートポンプを優先的に運転し、需要に

応じて業務用エコキュートを稼働させている。冷温同時取出ヒートポンプは、空調用冷凍機の排熱や地下1,500mから汲み上げる温泉、大浴場の温泉排水から熱回収を行うことでエネルギーを有効利用している。また、湿度の高い沖縄の気候に対応するため、県内ホテルで初めてデシカント空調を導入。そのデシカントローターの再生熱源には太陽熱温水器でつくった温水を用いているが、除湿が不要となる冬場は太陽熱温水器で作った温水を給湯に使用している。これら給湯システムを含めた施設全体のシステムは、その省CO₂技術が認められ、国土交通省の「住宅・建築物省CO₂先導事業」の採択も受けた。

BEMSの導入により、お客さまへの省CO₂啓発も実施

これらのさまざまな最先端の取り組みにより、大幅なコスト削減とCO₂排出量の削減を実現している。また、BEMSを導

入することで、施設内のエネルギー使用状況をリアルタイムで把握・管理するとともに、ホテルのインフォメーションシステムと連携を図ることで、得られたデータを公表し、滞在者への省CO₂啓発も行っている。

今後は運用面の工夫によりさらなる効率化を図るとともに、訪れた人々に快適性と環境性を訴求できるようなホテルづくりを目指していく。

ホテル オリオン モトブリゾート&スパ

所在地：沖縄県国頭郡本部町備瀬148-1
建築設計：東急設計コンサルタント・日建設・国建・AMS設計・国吉設計・沖縄プランニング設計共同企業体
建築施工：金秀・清水・大木・屋部・大城建設工事共同企業体
蓄熱設備設計：(株)日建設
蓄熱設備施工：三建設備工業(株)
延床面積：36,500㎡
竣工：2014年(新設)

■蓄熱設備概要
業務用エコキュート 40kW×3台[三菱電機]
業務用ヒートポンプ給湯機
熱源機：冷温同時取出ヒートポンプ 470.1kW(加熱能力)／358.9kW(冷却能力)×2台[神戸製鋼所]
蓄熱槽：36㎡(温水槽)